

公共施設のマネジメント について問う!



荻原 久雄
議員

問 公共施設のマネジメントに当たっては、人口減少による税収減も視野に入れる必要があるが、機能の集約や施設の複合化などについての考えを聞きたい。

市長 老朽化が進む公共施設の状態を市民の皆様にも説明した上で、施設の必要性などを踏まえた議論を深めていきたい。統廃合を含めた再編により、地域の特性に合った複合的な施設を検討することで、行政サービスや利便性が向上するような形を市民とともにつくり上げていきたい。

◆公用車へのドライブレコーダー設置

問 ドライブレコーダーは交通事故の防止や事故発生時の調査に活用できる。また、防犯カメラとしても犯罪抑止に有効であることから、全ての公用車に設置してはどうか。

政策推進部長

職員の安全運転に対する意識の向上や事故発生時の過失認定など大きな効果が期待できる。また、そうした車両が街中を走ることが広く市民に認知されれば犯罪抑止効果も考えられることから、今後、導入に向けて検討していきたい。



観光都市宣言の検討を!



柳 収一郎
議員

問 たつては、姉妹都市の鎌倉市のような観光都市を目指すべきと考える。観光に対する市民の機運をより一層盛り上げるため、観光都市宣言を行ってはどうか。

市長 市民一人ひとりが主役となり地道な活動を積み重ねていくことが、まちづくりを進めていく上で大切であると考ええる。観光都市宣言については市議会と連携を図り、関係者の意見を伺いながら検討していきたい。



▲北仲路地裏ワイン(市民が主役となり企画運営されたイベント)

◆魅力と活気ある観光地づくり

問 本市は他に誇れる観光資源を数多く有している。さらに磨きをかけ、観光と商業の有機的な連携のもと、魅力と活気のある観光地づくりを進めるべきと考えるがどうか。

市長

観光資源をつなぎ合わせ、一つの物語を構築し、魅力ある情報を発信して観光誘客につなげていきたい。また、観光振興を図る上で観光と商業の連携は大変重要な要素であり、観光客にとって居心地のよい空間のある、まちの活気につながるような観光地づくりを目指していきたい。

防災対策の充実で 安心・安全なまちに!



富永 悦子
議員

問 大規模災害発生後の市民生活への影響を最小限にするため、災害対応とあわせて必要な行政サービスが維持できるよう、あらかじめBCP(業務継続計画)を策定すべきと考えるがどうか。

総務部長

熊本地震において庁舎が使用不能となった事例などを踏まえ、災害の種類ごとに課題を整理する必要があるという認識に立ち、今後、関係各課による検討会議を発足させ、早い時期に策定したいと考えている。

◆介護支援ボランティア制度導入の推進

問 同制度を導入することで元気な高齢者の活動が活性化される。あわせてボランティアポイント制度を導入することにより相乗効果が得られると考えるがどうか。

健康福祉部長

ボランティアティアとして登録いただくことで、高齢者の生きがいづくりや社会参加につながると考える。また、ポイント制度については平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に合わせ、可能なものから導入していきたい。

